

障害者と防災に関する自治体アンケート 回答概要

2014年度障害者と防災 集約表 大阪市区部

	要援護者の参加状況	避難訓練		一時避難所			その他自由記述
		要援護者参加への工夫	SL	EV	WC		
0201 堺区	自治会単位で訓練を実施しており、一部の自治会で参加している	避難訓練	30/30	11/30	30/30		「地域による共助」は災害発生時、いち早く障害者等要援護者やその家族を支援することができる。自治会等を中心とした地域コミュニティを活用した中で、要援護者の所在の把握や体制づくりが重要と考える。
0202 中区	わからない		22/22	6/22	22/22		
0203 東区	災害対策基本法第8条第2項第15号の高齢者の一部は参加している	要配慮者等を訓練に参加できる状況としては、訓練活動中のまずは負傷を考慮するためには、訓練活動を支援する参加者の年齢層を下げる必要性があります。難しいですが若い年齢層を、参加していただけるのが課題です。訓練を運動会形式にして親子の参加を呼び掛けています。徐々にではありますが増えてはいますが、要配慮者が参加できる状況では現在のところありません。	15/15	4/15	15/15		共助よりも近助(向こう三件両隣)が大切で、この仕組みや考え方が浸透しないと、障害者等要援護者の防災対策は難しいように思います。特に若い年齢層に浸透させる必要があります。また、校区の訓練で親子の参加を呼び掛けている校区もあります。
0204 西区	わからない		24/24	7/24	24/24		<ul style="list-style-type: none"> ・要援護者がご近所の方々に要援護者として認識されているか ・要援護者を含む家族が日頃からご近所の方々と親しく付き合いをしているか ・市職員が直接救助に行くことは不可能なので住民の障害者等要援護者への理解が必要
0205 南区	参加している訓練もある	要配慮者をリヤカー、車いすで健常者が搬送、誘導している	36/36	9/36	36/36		
0206 北区	わからない		25/25	4/25	25/25		<ul style="list-style-type: none"> ・介助する方々の手配や主催側の受け入れ態勢 ・実施する効果や不都合等の掌握 ・訓練のとりにくみや工夫については、地域のみなさまのご協力の実施
0207 美原区	わからない		11/11	5/11	11/11		